



多治見市政記者クラブ同時配布資料  
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



| 令和6年5月14日(火) 岐阜県発表資料 |               |         |                                     |
|----------------------|---------------|---------|-------------------------------------|
| 担当課                  | 担当            | 担当者     | 電話番号                                |
| 岐阜県<br>現代陶芸美術館       | 展覧会担当<br>広報担当 | 林<br>松浦 | 代表 0572-28-3100<br>FAX 0572-28-3101 |

## 「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界—クラシックな名作とともに」 を開催します

岐阜県現代陶芸美術館では、特別展「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界—クラシックな名作とともに」を開催します。

リサ・ラーソンは、素朴で温かみのある、動物や人物をモチーフとした作品で知られるスウェーデンの陶芸家です。

1931年スウェーデンに生まれたリサ・ラーソンは、同国のグスタフスベリ磁器工房に長くデザイナーとして勤め、世界中で親しまれる数多くのプロダクトを手掛けました。1980年にフリーのデザイナーとなって以降も幅広く活動し、惜しくも今年3月に亡くなるまで、自身の工房で楽しみながら制作に向き合っていました。

本展覧会は、「Seen and Unseen」をテーマに、リサ・ラーソンのこれまで知られてこなかった創作の側面に光を当て紹介するものです。

愛らしい動物のシリーズなどおなじみの名作に加え、学生時代の作品、プロダクトと並行して制作を続けていた一点物の作品（ユニークピース）、ガラスなど異素材を用いた作品、また、互いに影響を与えた、夫である画家グンナル・ラーソンの作品など約250点の作品を紹介します。陶芸家リサ・ラーソンの知られざる創造の世界をご覧ください。



《ライオン（マキシ）／アフリカシリーズ》本モデルは1968年から製造・本作品は1968-1980年頃に製造©Lisa Larson / Alvaro Campo

- 1 会 期 令和6年6月8日（土）～ 令和6年8月25日（日）
- 2 休 館 日 月曜日（ただし、7月15日、8月12日は開館）7月16日（火）、8月13日（火）
- 3 会 場 岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーI（多治見市東町4-2-5）
- 4 観 覧 料 一般1,000円、大学生800円、高校生以下無料
- 5 主 催 岐阜県現代陶芸美術館
- 6 共 催 中日新聞社、東海テレビ放送、TOKAI RADIO
- 7 関連催事

### ■季節のワークショップ「動物型の蚊やりをつくろう」

講師：奥村潤子氏（造形作家）

日時：6月9日（日）13:30～15:30

会場：セラミックパーク MINO 作陶館

■作家とみて・つくるワークショップ「いろいろやきものいいかんじ」

講師：こだいらけんいち小平健一氏（陶芸家）

日時：7月20日（土）、8月17日（土） 13:30～15:30

会場：岐阜県現代陶芸美術館、セラミックパーク MINO 作陶館

■こどもむかデー

一息つけるキッズルームを美術館内で設置するなど、小さなお子さん連での来館を後押しする2日間です。

日時：7月27日（土）、28日（日） 終日

■ギャラリートーク

日時：6月16日（日）、7月14日（日）、8月11日（日） 各日14:00～

岐阜県現代陶芸美術館

検索 

ホームページ：<https://www.cpm-gifu.jp/museum/>